

[事故ゼロプラン参考資料]



事故ゼロプラン参考資料

1. 令和4年度の取り組み概要(参考資料無し)
2. 事故ゼロプランの現状報告..... 1
3. 対策済み区間に対する効果評価..... 3
4. 事故ゼロプランの新規追加区間(案)..... 33
5. 道路利用者意見収集のスケジュール(参考資料無し)

①事故ゼロプランの概要

- 静岡県事故ゼロプランは平成22年度より取り組みを開始（事故危険区間として229区間を選定）。
- PDCAサイクルを念頭に順次対策を進めつつ、事故危険区間の追加・見直しを行っている。

3. 事故危険区間の選定

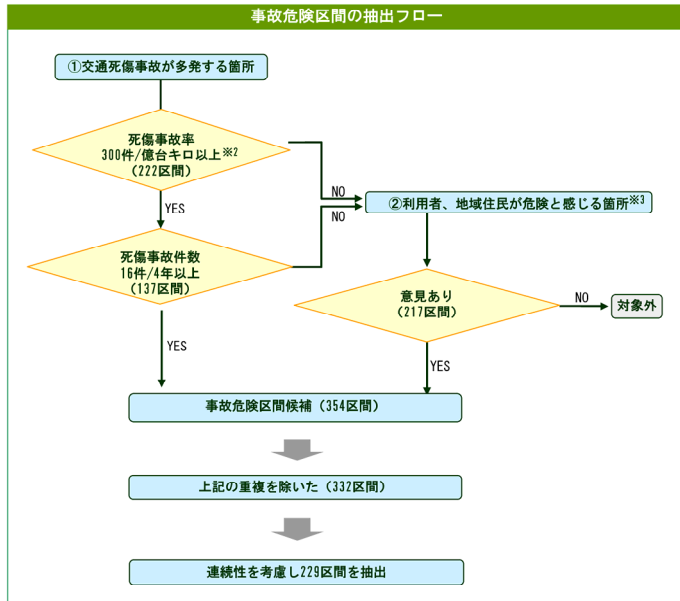
静岡県事故ゼロプランでは、静岡県内の国土交通省が管理する国道を対象として、交通死傷事故が多発する箇所や静岡県の交通特性を考慮して利用者、地域住民が危険と感じる箇所を事故危険区間として、静岡県道路交通環境安全推進連絡会議※1を経て229区間を選定しました。

■静岡県事故ゼロプラン 事故危険区間の選定方針

- ①交通死傷事故が多発する箇所 : 死傷事故率300件/億台キロ以上+16件/4年以上
- ②利用者、地域住民が危険と感じる箇所 : ヒヤリハット箇所、地元意見箇所など

※1 静岡県道路交通環境安全推進連絡会議

静岡県内の交通事故の防止を図るため、警察と道路管理者とが連携を図り、安全な道路交通環境の整備や利用者への広報を行うとともに、利用者の意見を交通安全施策に反映することを目的としています

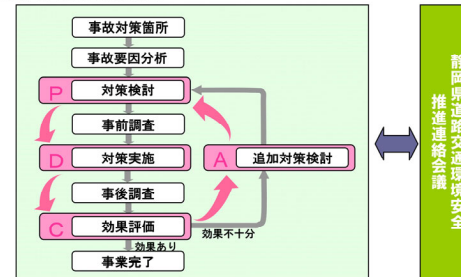


- ※2 死傷事故率とは
1km区間を1億台の自動車が行ったとき、その区間内で死傷事故が発生する割合のことで、死傷事故の起こりやすさの目安となります。
- ※3 利用者、地域住民が危険と感じる箇所の選定方法
・地元の意見 : 沿線市町の意見
・ヒヤリハット箇所 : 利用者WEBアンケート
・職業ドライバー「七ツガ」
・その他 : 歩道、自転車道整備必要区間など

5. 事故対策の取り組み方針

■ 対策の進め方

個別の選定区間に対する事故対策の取り組みは、事故データや地域住民の声、現地調査などにより事故要因を明らかにしたうえで、対策検討(P)→対策実施(D)→効果評価(C)→追加対策検討(A)の流れに沿って進めます。単に選定区間の対策を実施するだけではなく、継続的に事故発生状況をモニタリングし、必要に応じて迅速に改善を加えることで効果的に成果を上げていくことを目指します。



■ PDCAサイクル実施事例

PLAN (問題の把握と対策立案)

- ・課題箇所の交通事故特性、事故発生要因の把握
- ・有効な交通事故対策の立案

課題箇所の現地状況把握

現場調査

協議の見直し

PLAN 計画

DO (対策の実施)

- ・課題箇所への対策実施

●交通事故対策の実施

- ①交差点カラー舗装
- ②番号機視認性向上
- ③カラー舗装に合わせた案内標識
- ④交差点コンパクト化

DO 実行

ACTION (反映および改善の検討)

- ・類似箇所への対策実施の水平展開
- ・対策実施によって生じた新たな課題への対応

●対策効果の評価 (事故発生件数やアンケートなど)

カラー舗装 (ベンガラ色) 対策

カラー舗装に合わせた案内標識対策

●追加調査 ビデオ調査状況

右折車両動静調査

ACTION 新たな行動

CHECK (効果の検証)

- ・対策前後の交通事故の比較による対策効果の検証
- ・交通事故データをを用いた対策効果の検証

●事故発生件数からの検証

対策前後における死傷事故発生件数を検証

●交通挙動からの検証

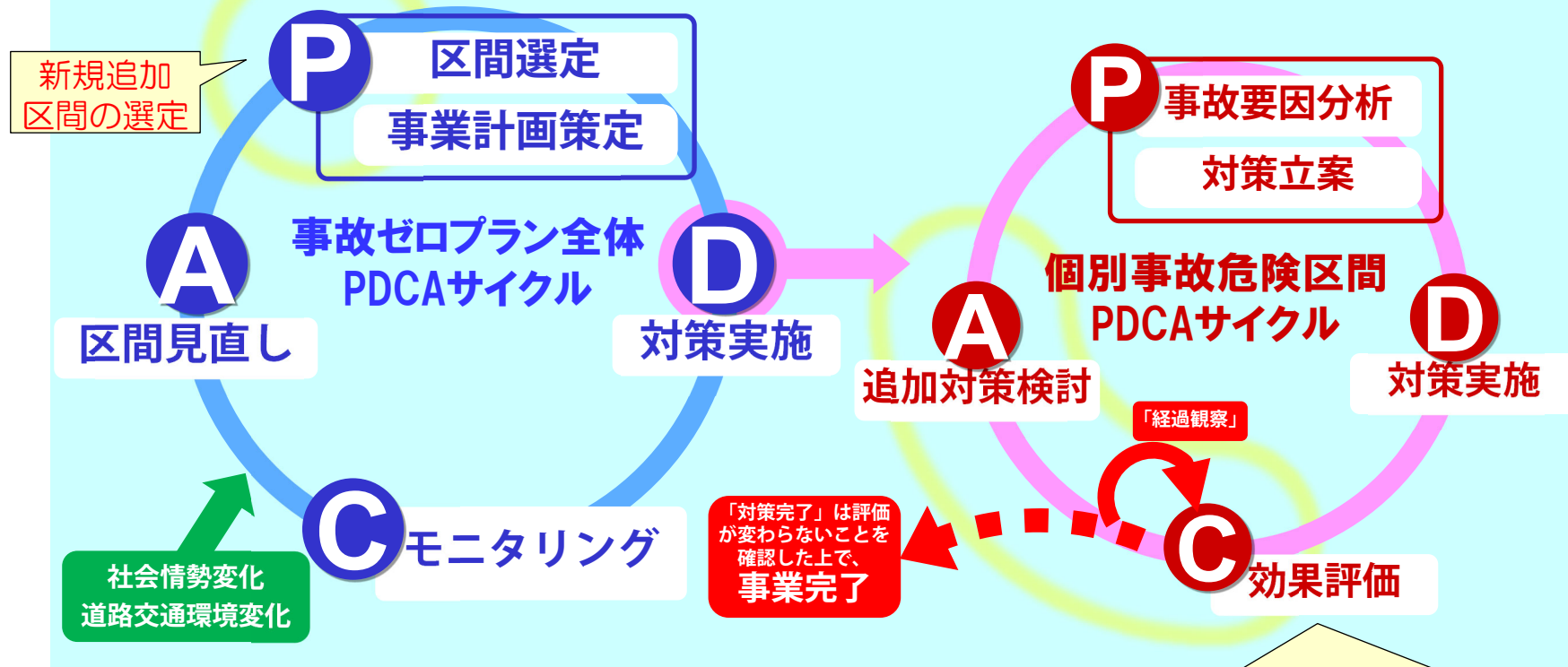
対策前後の対策前後の比較による対策効果の検証

対策前 対策後

②事故ゼロプランにおける実施サイクル

- 交通事故を効率的かつ効果的に減少させるためには、実施した対策について効果評価を行い、評価結果を計画に反映させることで改善を図っていくことが重要である。
- 「対策済み区間に対する効果評価」を行うとともに、その結果をもとに、必要な区間について「追加対策検討」を行なった。
- また、新規追加区間の抽出の考え方を「事故ゼロプランの新規追加区間」を選定した。

事故ゼロプラン全体 目的:管内の事故危険区間を対象に緊急対策を施して効率的に事故を削減

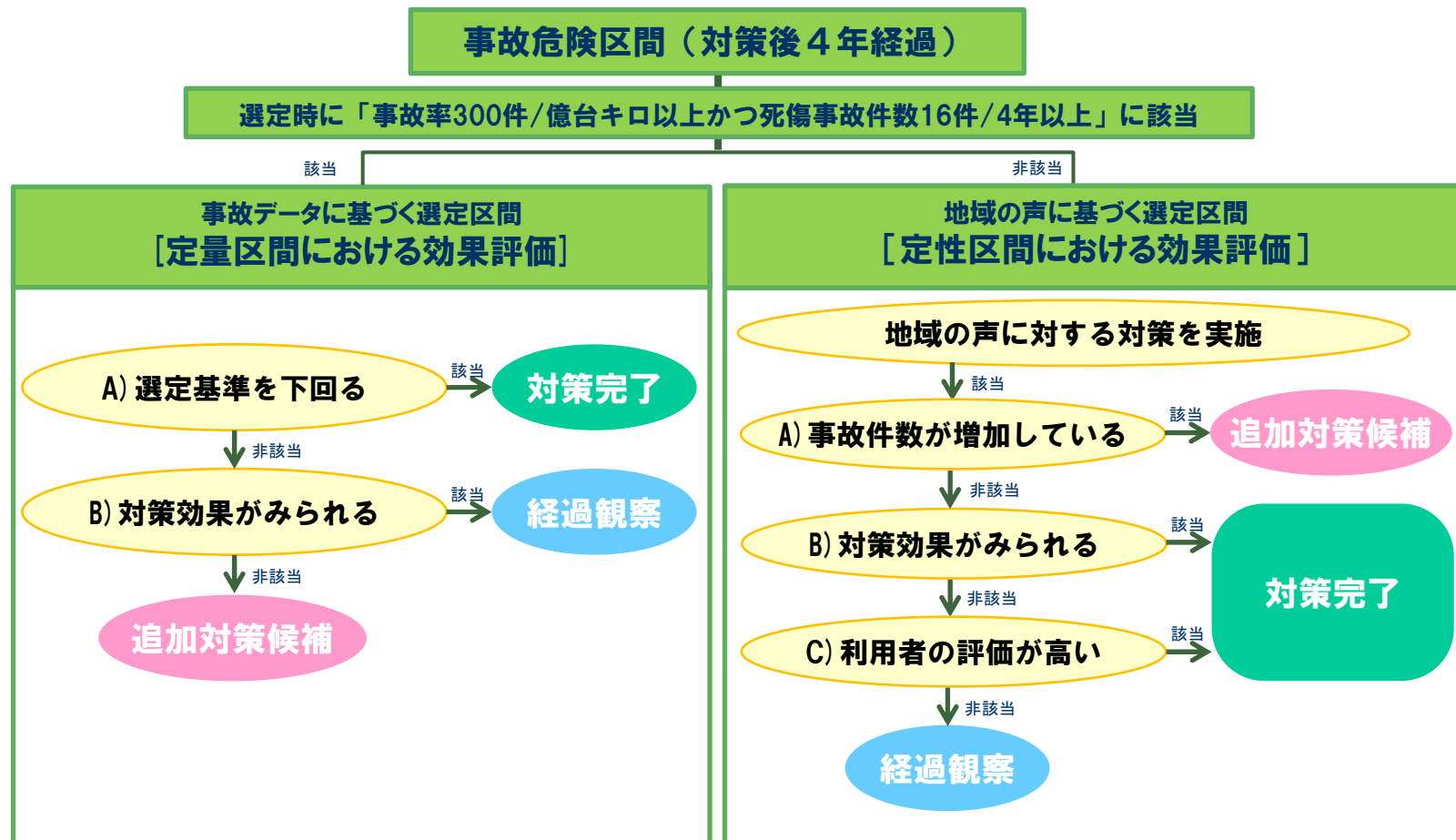


対策済み区間に対する効果評価・追加対策検討の実施

① 対策済み区間に対する効果評価の考え方

- 平成28年度に決定した効果評価手法に基づき、対策済み区間に対する効果評価を実施した。
(対策済み区間のうち、個別評価が可能となる対策後4年以上の事故データが存在する区間が対象)
- 効果評価により抽出された「追加対策候補区間」に対して、追加対策の要否判断を実施した。

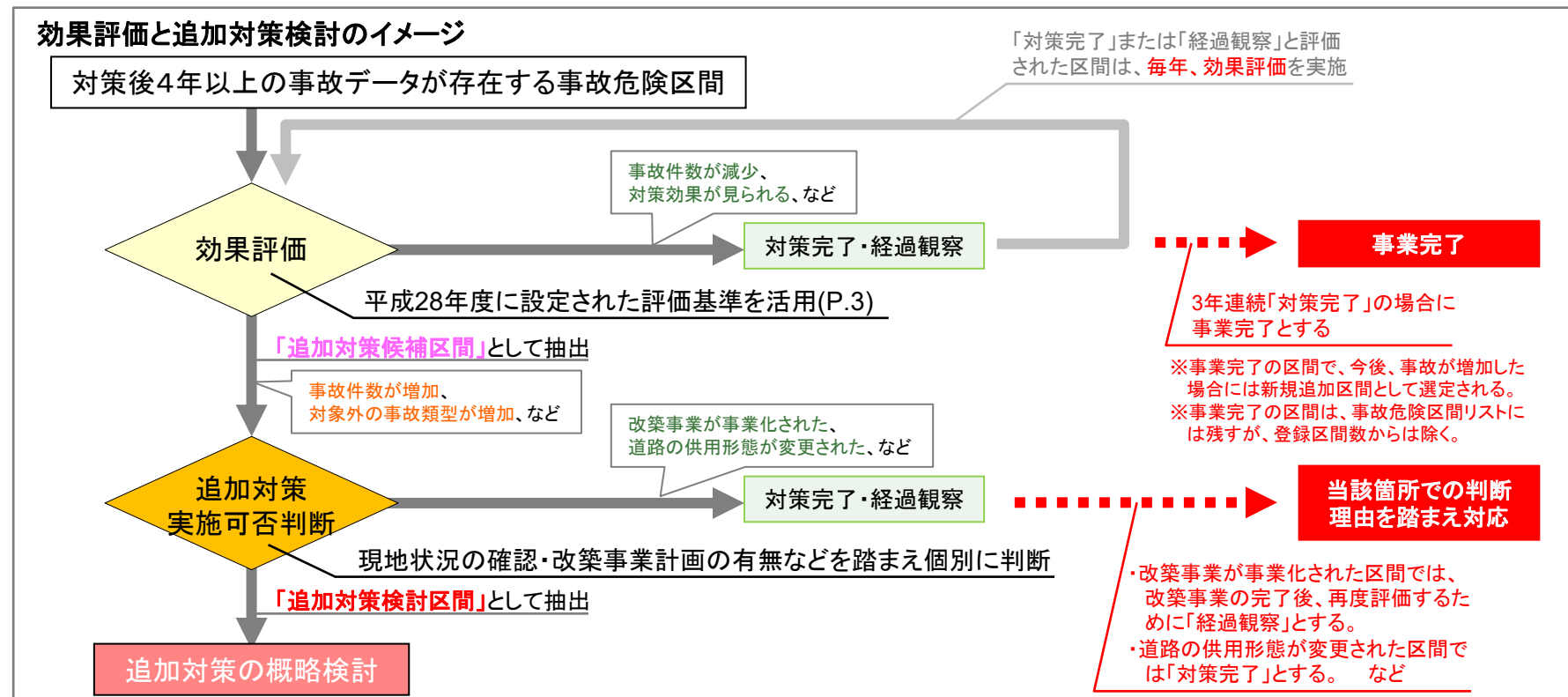
【平成28年度に決定した効果評価手法】



※事故危険区間選定時に「事故データ」「地域の声」の両基準により選定された区間については、「事故データに基づく選定区間」の評価基準を適用した。

② 「効果評価結果」による事故危険区間の取り扱い

- 対策後4年以上の事故データが存在する区間に対して、効果評価を実施し「追加対策候補区間」を抽出した。また、抽出された「追加対策候補区間」について”現地状況”や”改築事業計画の有無”を確認し、区間毎に追加対策の実施可否判断を行い「追加対策の概略検討」を行った。
- 効果評価の結果、「対策完了」または「経過観察」と評価された区間は、毎年、効果評価を実施する。また、3年連続「対策完了」と評価された場合は、事業完了とする。
- 「追加対策の実施可否判断」においては「改築事業が事業化された区間」や「供用形態が変化した区間」などの当該区間での状況を踏まえて、「経過観察」または「対策完了」と評価する。



③効果評価の結果 -事故データに基づく選定区間- (28区間)

- 事故データに基づく選定区間では、R2～R4の効果評価が3年連続「対策完了」となる区間は10区間あり、「事業完了」により事故ゼロプランから除外する。
- 「追加対策候補」となる区間は3区間あり、追加対策の実施要否判断により2区間を追加対策検討区間と評価した。

箇所概要					効果評価				
選定理由	事務所	新区間番号	区間名	対策実施年	R1 効果評価	R2 効果評価	R3 効果評価	R4 効果評価	R4 効果評価結果
事故	静岡	22-K61953-000 22-K61952-000	富士宮市富士見ヶ丘6(阿幸地北交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K06146-000	清水区七ツ新屋445(七ツ新屋東交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K06173-000	清水区長崎新田117-2((仮)フィットハウス静岡店前交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K06872-000	葵区御幸町11-10(栄町交差点)	H22		対策完了	対策完了	追加対策候補	追加対策検討区間
事故	静岡	22-K06058-000	葵区清閑町12-12～14-10(清閑町東交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	静岡	22-K06145-000	清水区七ツ新屋414(七ツ新屋交差点)	H22	経過観察	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K06084-000	駿河区国吉田1-2-26(国吉田交差点)	H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K03162-000	駿河区丸子3-13-1～3-12-1(北丸子1丁目交差点)	H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-T11322-000	駿河区北丸子1-31-27～2-1-38	H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K60484-100 22-K60485-200	富士市伝法2511((仮)富士IC西交差点)	H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	静岡	22-K06285-000	富士宮市舞々木町113(登山道入口交差点)	H22		経過観察	経過観察	経過観察	経過観察
事故	静岡	22-K03121-000	駿河区手越66(手越原交差点)	H22				対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K06086-000	清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H22				追加対策候補	経過観察
事故	静岡	22-K03119-000	駿河区手越7(佐渡交差点)	H22				対策完了	対策完了(1年目)
事故	静岡	22-K06295-000	富士宮市小泉1942(中小泉交差点)	H22				追加対策候補	追加対策検討区間
事故	沼津	22-K04374-000	駿東郡清水町伏見72(柿田川公園前交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06245-000	沼津市共栄町3-3(共栄町交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06244-000	沼津市江原町11-11(東熊堂交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06327-000	御殿場市駒門135(久保前交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06269-000	沼津市岡一色470(沼津IC南交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06271-000	沼津市岡一色197(門池小入口交差点)	H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
事故	沼津	22-K06331-000	御殿場市神場東1375(神場東交差点)	H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	沼津	22-K06276-000	駿東郡長泉町下長窪1075-9(城山交差点)	H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	沼津	22-K06319-000	御殿場市神山1571(兎島交差点)	H22	経過観察	対策完了	経過観察	経過観察	経過観察
事故	沼津	22-K06321-000	裾野市千福73(千福南交差点)	H22				対策完了	対策完了(1年目)
事故	浜松	22-T68322-200	島田市島880-1(大代IC)	H25			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	浜松	22-K05680-000	南区飯田町507(飯田町南交差点)	H25			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
事故	浜松	22-K05576-000	南区卸本町103-1(卸本町交差点)	H25			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)

③効果評価の結果 -地域の声に基づく選定区間- (33区間)

- 地域の声に基づく選定区間では、R2～R4の効果評価が3年連続「対策完了」となる区間は6区間あり、「事業完了」により事故ゼロプランから除外する。
- 「追加対策候補」となる区間は7区間あり、追加対策の実施要否判断により2区間を追加対策検討区間、5区間を経過観察区間と評価した。

選定理由	事務所	新区間番号	箇所概要		対策実施年	効果評価				
			区間名			R1 効果評価	R2 効果評価	R3 効果評価	R4 効果評価	R4 効果評価結果
意見	静岡	22-K03723-000	葵区瀬名中央2丁目3-34～東瀬名町1-52(瀬名中央2丁目交差点)		H23	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K06172-000	清水区西大曲町1-8(番号無し交差点)		H25		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K61951-200	島田市野田1045(野田IC)		H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	静岡	22-K06151-000	清水区渋川500-1(渋川東交差点)		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T00818-200	駿河区丸子3088～3170		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T61228-000	富士市国久保2丁目15～富士市国久保2丁目10		H25			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	静岡	22-T00193-100 22-T00193-200	駿河区丸子6850～6290-17		H22			経過観察	経過観察	経過観察
意見	静岡	22-T67654-100 22-T68578-200	藤枝市岡部岡部1920～1960		H22			経過観察	経過観察	経過観察
意見	静岡	22-K05430-000	清水区長崎新田433～島坂245(長崎IC交差点)		H22				対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-T04257-000	清水区小島町450～728		H22				対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-K06079-000	葵区長沼703-1(長沼西交差点)		H25				追加対策候補	追加対策検討区間
意見	静岡	22-K06220-000	富士市田中新田無番地(桜町北交差点)		H25				対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-K07179-200 22-K07179-100	清水区蒲原5055-13(蒲原東IC交差点)		H25				対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-K06199-000	清水区八坂北1丁目23(下野東交差点)		H25				対策完了	対策完了(1年目)
意見	静岡	22-K06085-000	駿河区中吉田13-13(中吉田交差点)		H26				追加対策候補	追加対策検討区間
意見	静岡	22-K06287-000	富士宮市万野原新田3540(万野原新田)		H27				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-K06243-000	沼津市西熊堂327-2(西熊堂交差点)		H25		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	沼津	22-K04379-000	三島市南田町5(奈良橋交差点)		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-T00117-100	裾野市桃園(桃園トンネル南側橋梁部)		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-K06341-000	御殿場市新橋648-4(鮎沢交差点)		H25			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	沼津	22-T65995-100	三島市塚原新田219-22～谷田1712		H22				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-K05108-000	田方郡函南町桑原1364-50(箱根峠交差点)		H22				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-T70801-100	三島市塚の台1665-131		H22				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-T68793-000	沼津市大岡28874-1(国道1号合流上石田ICランプ)		H22				対策完了	対策完了(1年目)
意見	沼津	22-K06361-000	御殿場市塚原837(塚原交差点)		H22				経過観察	経過観察
意見	沼津	22-T12368-000	三島市谷田260-3～東本町2-33		H25				対策完了	対策完了(1年目)
意見	浜松	22-T68409-200 22-T11862-202 22-T11862-101 22-T67930-100	東区薬師町414～龍光町92-2		H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	浜松	22-T67986-200 22-T68450-100	湖西市新居町新居3448～3380-416		H22		対策完了	対策完了	対策完了	対策完了(3年目) 事業完了
意見	浜松	22-K05959-000	掛川市領家499-1～989(飯)掛川毎日ポウル前交差点)		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	浜松	22-T63696-000	袋井市国本2550～2756		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	浜松	22-T67838-100 22-T68552-100	袋井市菱町3-5-3～袋井市久能1285		H22			対策完了	対策完了	対策完了(2年目)
意見	浜松	22-K07193-200 22-K07193-100	西区篠原町22208(篠原IC)		H22		対策完了	経過観察	経過観察	経過観察
意見	浜松	22-T67815-000 22-T67813-000	掛川市千羽1325～441		H22	対策完了	経過観察	対策完了	対策完了	対策完了(2年目)

④追加対策の要否判断

追加対策候補区間の一覧（静岡県ALL）

担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	葵区御幸町11-10(栄町交差点)	H22	H26	R4	●		追加対策検討区間
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H22	H28	R4	●		経過観察
静岡国道事務所	富士宮市	国道139号	交差点	富士宮市小泉1942(中小泉交差点)	H22	H28	R4	●		追加対策検討区間
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	駿河区丸子6850~6290-17	H22	H27	R4		●	経過観察
静岡国道事務所	藤枝市	国道1号	交差点	藤枝市岡部町岡部1920~1960	H22	H27	R4		●	経過観察
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	葵区長沼703-1(長沼西交差点)	H25	H28	R4		●	追加対策検討区間
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	単路	駿河区中吉田13-13(中吉田交差点)	H26	H28	R4		●	追加対策検討区間
沼津河川国道事務所	御殿場市	国道246号	交差点	御殿場市塚原837(塚原交差点)	H22	H28	R4		●	経過観察
浜松河川国道事務所	浜松市	国道1号	交差点	西区篠原町22208(篠原IC)	H22	H26	R4		●	経過観察
浜松河川国道事務所	掛川市	国道1号	交差点	掛川市千羽1325~441 (※下り線合流区間が対象)	H22	H24	R3		●	経過観察

④追加対策の要否判断

追加対策候補区間の一覧（静岡国道管内）

担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	葵区御幸町11-10(栄町交差点)	H22	H26	R4	●		追加対策検討区間
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)	H22	H28	R4	●		経過観察
静岡国道事務所	富士宮市	国道139号	交差点	富士宮市小泉1942(中小泉交差点)	H22	H28	R4	●		追加対策検討区間
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	駿河区丸子6850~6290-17	H22	H27	R4		●	経過観察
静岡国道事務所	藤枝市	国道1号	交差点	藤枝市岡部町岡部1920~1960	H22	H27	R4		●	経過観察
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	交差点	葵区長沼703-1(長沼西交差点)	H25	H28	R4		●	追加対策検討区間
静岡国道事務所	静岡市	国道1号	単路	駿河区中吉田13-13(中吉田交差点)	H26	H28	R4		●	追加対策検討区間

C

追加対策候補区間（葵区御幸町11-10(栄町交差点)）

事前事故発生状況

国道1号 栄町交差点 (H26対策)

選定理由：事故データに基づく選定

基準値判定

- ①死傷事故件数：21件/4年 (H29-R2)
※事故ゼロプラン当初選定基準(16件/4年)以上 **×**
- ②死傷事故率：349.3/億台^{キロ} (H29-R2)
※事故ゼロプラン当初選定基準(300件/億台^{キロ}以上) **×**

効果判定

- ①全体判定（事故件数3割抑止）：
38件/4年→21件/4年（45%減少） **○**
(H17-H20) (H29-R2)
- ②着目事故判定（事故件数3割抑止）：
（追突）25件/4年→18件/4年（28%減少） **×**
(H17-H20) (H29-R2)
- ③時系列判定（対策前平均→最新2年平均）：
9.5件/年→6.0件/年（減少） **○**
(H17-H20) (R1-R2)
- ④着目外事故のチェック：（増加かつ年平均1件以上）
増加傾向にある類型なし **○**

H26対策

期間	追突	その他	合計
H17-H20 (選定時)	6	3	9
H29	2	1	3
H30	5	1	6
R1	5	1	6
R2	6	0	6

4年計比較

期間	死傷事故件数(件/4年)
H17-H20	38
H29-R2	21

事故発生状況

対策前断面構成(標準断面)

対策前写真

対策実施状況

対策実施状況

対策後断面構成(標準断面)

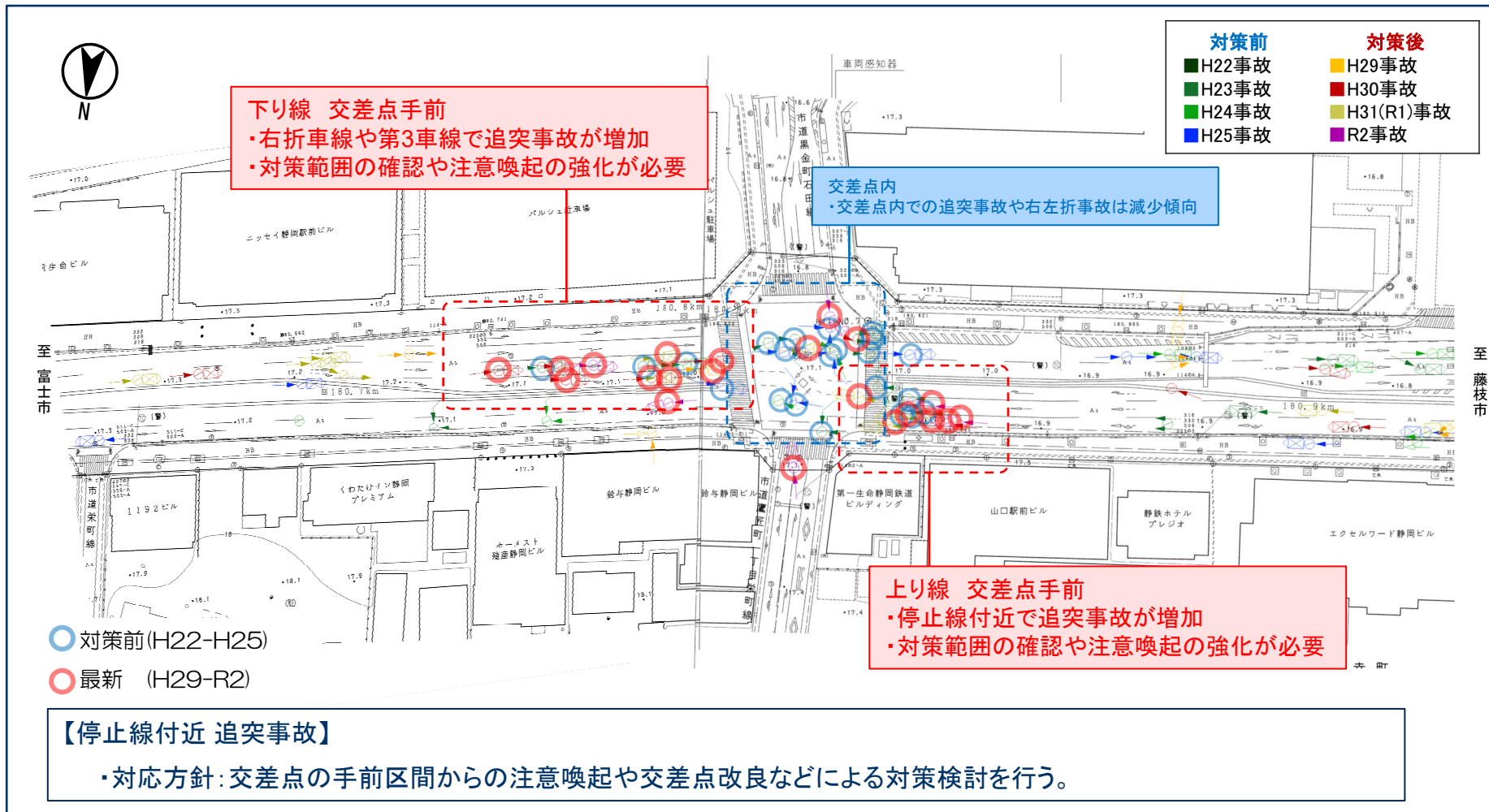
対策後写真

○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

C

追加対策候補区間（葵区御幸町11-10(栄町交差点)）

- ・対策実施後も事故は減少傾向になく、依然として基準値を超える事故が発生。
- ・増加する事故に対して、既存注意喚起対策の強化のほか、交差点改良等の抜本的対策も含め検討をする。



C

追加対策候補区間（清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)）

事前事故発生状況

国道1号 中之郷交差点 (H28対策)

選定理由：事故データに基づく選定

基準値判定	①死傷事故件数：17件/4年 (H29-R2) ※事故ゼロプラン当初選定基準(16件/4年)以上	×
	②死傷事故率：313.6/億台* _口 (H29-R2) ※事故ゼロプラン当初選定基準(300件/億台* _口)以上	×
効果判定	①全体判定（事故件数3割抑止）： 28件/4年→17件/4年（39%減少） (H17-H20) (H29-R2)	○
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）13件/4年→8件/4年（38%減少） (H17-H20) (H29-R2)	○
	③時系列判定（対策前平均→最新2年平均）： 7.0件/年→3.0件/年（減少） (H17-H20) (R1-R2)	○
	④着目外事故のチェック：（増加かつ年平均1件以上） 右折事故が増加傾向	×

H28対策

死傷事故件数(件/年)

死傷事故件数(件/4年)

H17-H20 (選定時) H29 H30 R1 R2 H17-H20 H29-R2 4年計比較

事故発生状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	◀	正面衝突	▶
二輪・原付	◀	追突	▶
自動車	◀	追突	▶
歩行者	◀	出会い頭	▶
死に事故	●	右折	○
負傷事故	○	右折	○

至 富士市 至 藤枝市

交差点周辺の追突事故
交差点内の左折事故
交差点周辺の追突事故

— H17年事故
— H18年事故
— H19年事故
— H20年事故

図面に記載は平成17年～20年発生事故

対策前断面構成(標準断面)

対策前写真

至 富士市 至 藤枝市

対策実施状況

対策実施状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	◀	正面衝突	▶
二輪・原付	◀	追突	▶
自動車	◀	追突	▶
歩行者	◀	出会い頭	▶
死に事故	●	右折	○
負傷事故	○	右折	○

至 富士市 至 藤枝市

①路面標示「追突注意」
②交差点コンパクト化 車線分離標の
③視覚障害者用誘導シート
④路面標示「追突注意」
⑤交差点流入部カラー化
⑥幅広停止線
⑦交差点流入部カラー化

赤字：道路管理者、青字：公安委員会

改良済
①H21年度
②H28年度

未改良

対策後断面構成(標準断面)

対策後写真 H21年度対策

至 富士市 至 藤枝市

対策後写真 H28年度対策

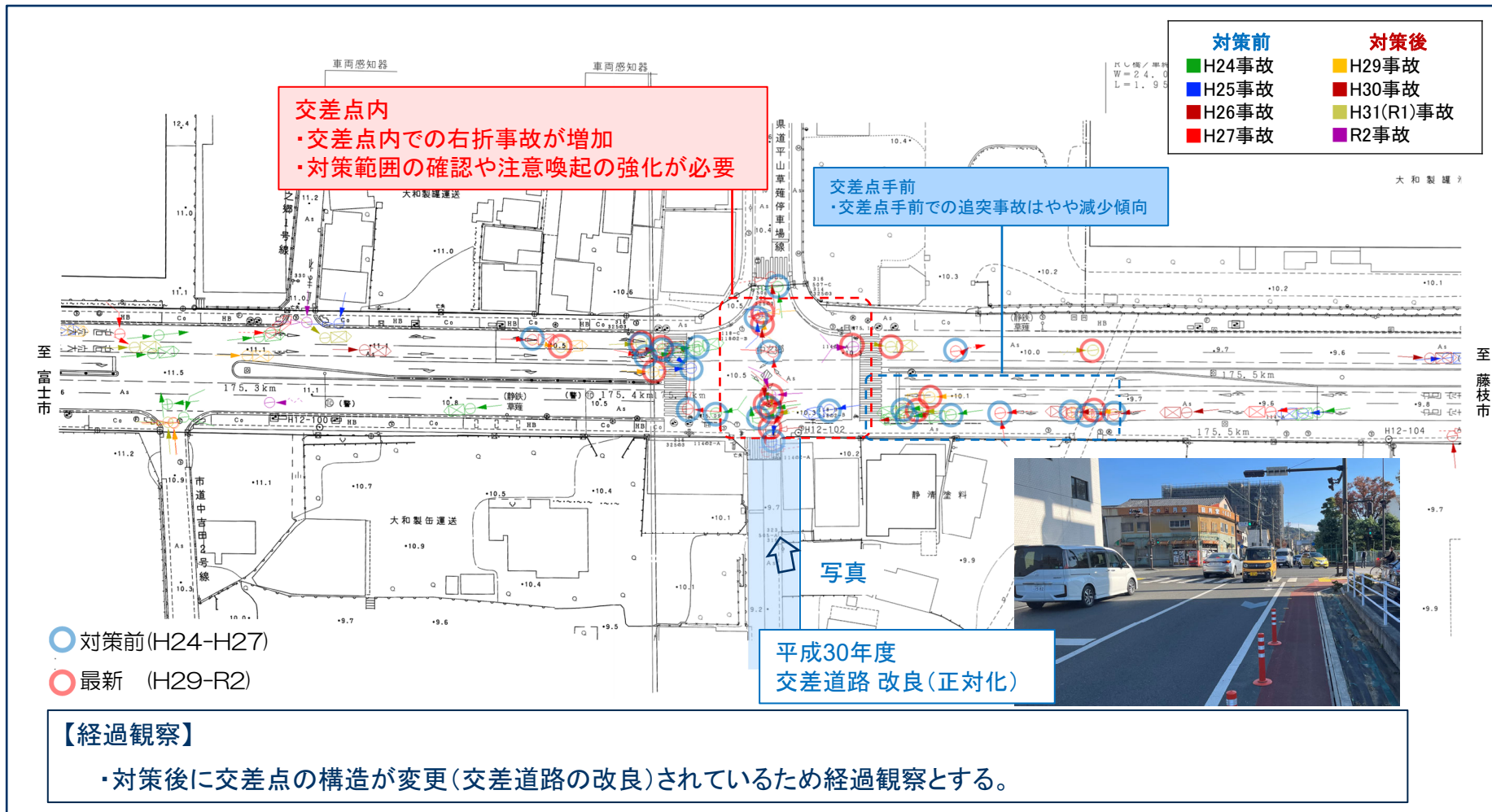
至 藤枝市 至 富士市

○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

C

追加対策候補区間（清水区中之郷3-5-40(中之郷交差点)）

- ・対策実施後の平成30年度には交差道路の改良（正対化）が行われている。
- ・交差道路の改良による交通環境の変化も想定されるため、経過観察とする。



C

追加対策候補区間（富士宮市小泉1942(中小泉交差点)）

事前事故発生状況

国道1号 中小泉交差点 (H28対策)

選定理由：事故データに基づく選定

基準値判定

- ①死傷事故件数：20件/4年 (H29-R2)
※事故ゼロプラン当初選定基準(16件/4年)以上 **×**
- ②死傷事故率：354.1/億台^{キロ} (H29-R2)
※事故ゼロプラン当初選定基準(300件/億台^{キロ}以上) **×**

効果判定

- ①全体判定（事故件数3割抑止）：
21件/4年→20件/4年（5%減少）
(H17-H20) (H29-R2) **○**
- ②着目事故判定（事故件数3割抑止）：
（追突）7件/4年→16件/4年（129%増加）
(H17-H20) (H29-R2) **×**
- ③時系列判定（対策前平均→最新2年平均）：
5.3件/年→4.0件/年（減少）
(H17-H20) (H29-R2) **○**
- ④着目外事故のチェック：(増加かつ年平均1件以上)
増加傾向にある類型なし **○**

H28対策

期間	追突	その他	合計
H17-H20 (選定時)	2	19	21
H29	6	15	21
H30	3	12	15
R1	4	11	15
R2	3	12	15
H17-H20 (4年計比較)	2	19	21
H29-R2 (4年計比較)	3	17	20

事故発生状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	←	正面衝突	→
二輪・原付	←	追突	←
白粉車	◁	出会い頭	▷
歩行者	◁	左折	▷
死亡事故	●	右折	▷
負傷事故	◎	車両横断	◎

図面に記載は平成23年～26年発生事故

対策前断面構成(標準断面)

対策前写真

対策実施状況

対策実施状況

- ①・セブラ・右折レーン延伸
 - ・警戒標識・注意喚起路面標示
 - ・ドットライン延伸・導流线
- ①横断歩道前出し
- 流入部カラー舗装
- ①・セブラ・右折レーン延伸
 - ・警戒標識・注意喚起路面標示
 - ・ドットライン延伸・導流线

■ 改良 ■ 未改
■ 追加対策

①: H27対策

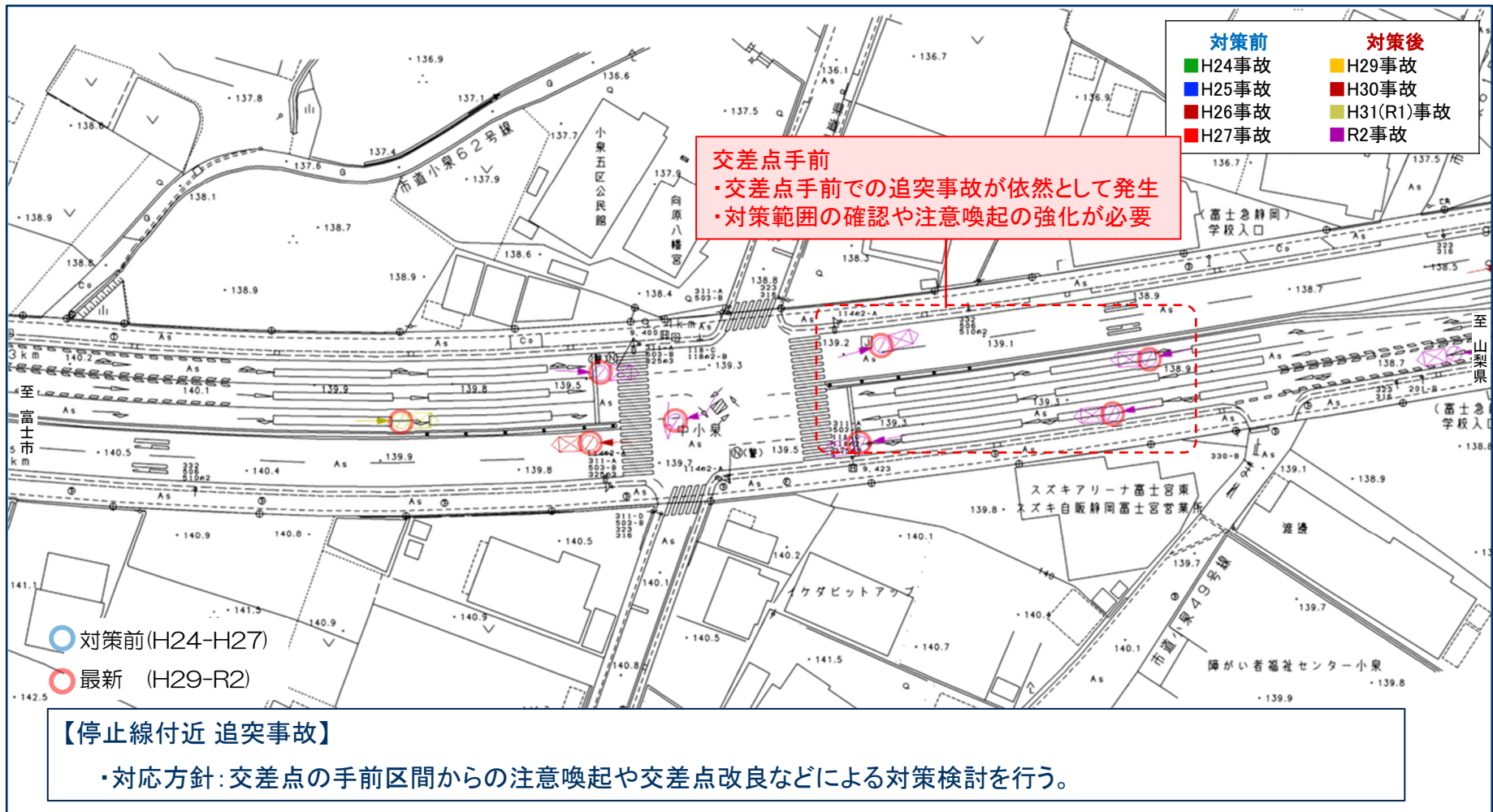
対策後断面構成(標準断面)

対策後写真 H27対策

○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

C 追加対策候補区間（富士宮市小泉1942(中小泉交差点)）

- ・対策実施後も事故は減少傾向になく、依然として基準値を超える事故が発生。
- ・増加する事故に対して、既存注意喚起対策の強化のほか、交差点改良等の抜本的対策も含め検討をする。



C

追加対策候補区間（駿河区丸子6850～6290-17）

事前事故発生状況

国道1号 駿河区丸子6850～6290-17 (H27対策)

選定理由：地域の声に基づく選定

事故判定増減	①死傷事故件数 選定時：2件/4年 (H17-H20) 評価時：3件/4年 (H29-R2) 増加	×
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 2件/4年→3件/4年（50%増加）	×
効果判定	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）1件/4年→2件/4年（増加）	×
	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 基準値超過指標：なし	○

H27対策

期間	追突	その他
H17-H20 (選定時)	0	2
H29	2	1
H30	0	0
R1	0	0
R2	0	0

期間	追突	その他
H17-H20	0	2
H29-R2	2	1

事故発生状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	◀	正面衝突	▶
二輪車・原付	◀	追突	▶
自転車	◀	出会い頭	▶
歩行者	○	左折	▶
死亡事故	●	右折	▶
負傷事故	○	直進直進	▶

ドライフィン周辺の駐車大型車の危険性の危惧

対策前断面構成(標準断面)

対策前写真

至 富士市

至 藤枝市

至 藤枝市

至 富士市

図面に記載は平成23年～26年発生事故

対策実施状況

対策実施状況

①路面標示

①減速路面標示延伸

①減速路面標示延伸

①路面標示

注意喚起標識

車線分離標

①H27対策

改良 未改

対策後断面構成(標準断面)

対策後写真

至 富士市

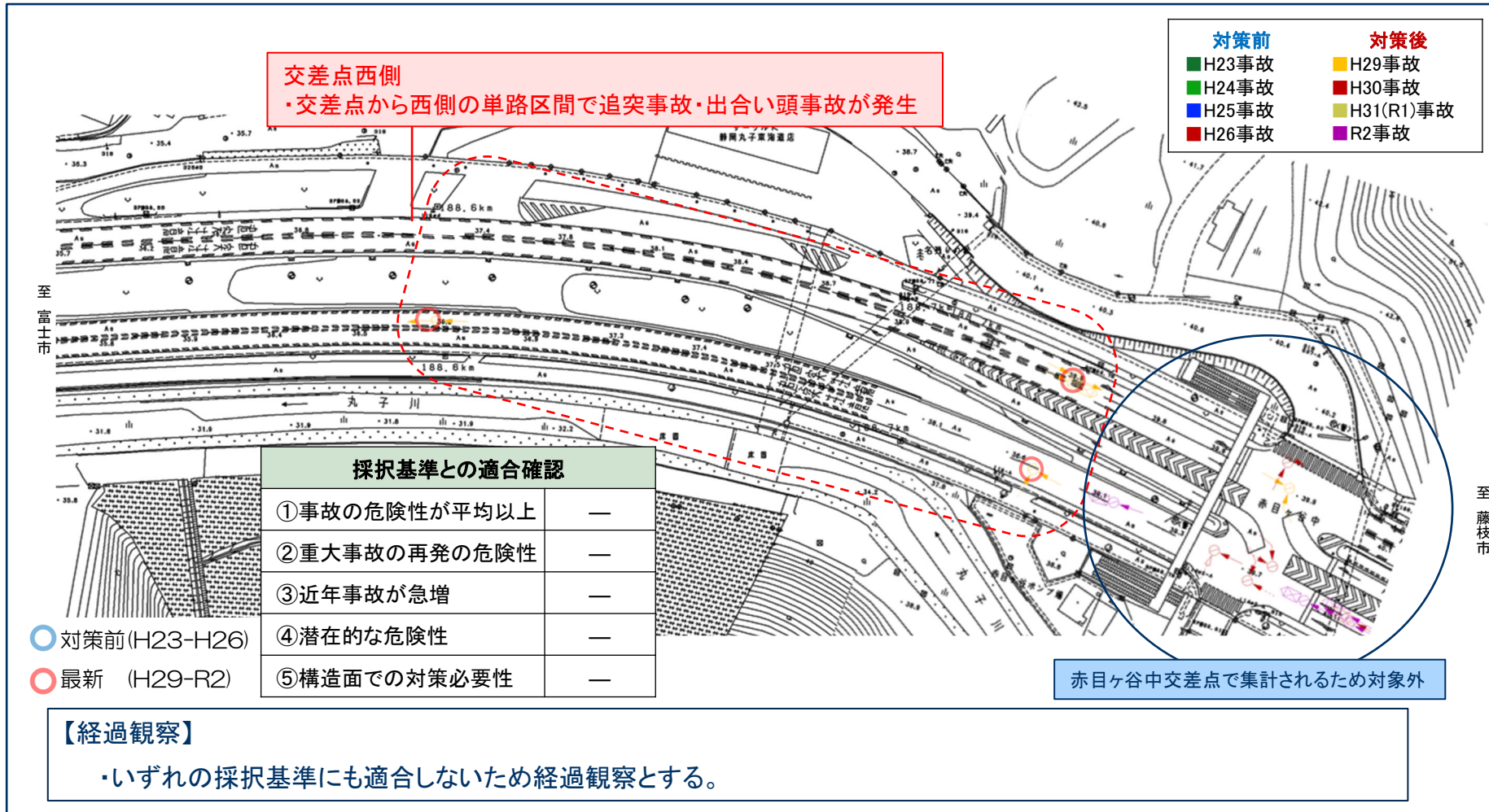
至 藤枝市

至 藤枝市

○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

C 追加対策候補区間（駿河区丸子6850～6290-17）

- ・地域の声に基づく選定の採択基準のいずれにも適合しない。
- ・追加対策の必要性は低いとして、経過観察区間とする。



C

追加対策候補区間（藤枝市岡部町岡部1920～1960）

事前事故発生状況

国道1号 藤枝市岡部町岡部1920～1960 (H27対策)

選定理由：地域の声に基づく選定

事故判定 増減	①死傷事故件数 選定時：1件/4年 (H17-H20) 評価時：7件/4年 (H29-R2) 増加	×
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 1件/4年→7件/4年（600%増加）	×
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）1件/4年→6件/4年（増加）	×
効果判定	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 基準値超過指標：なし	○

H27対策

期間	追突	その他
H17-H20 (選定時)	1	0
H29	0	1
H30	2	0
R1	4	0
R2	6	1

期間	死傷事故件数(件/4年)
H17-H20	1
H29-R2	7

○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

事故発生状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	←	正面衝突	→
二輪・原付	←	追突	→
自動車	○	出会い頭	○
歩行者	◇	左折	◇
死亡事故	●	右折	●
負傷事故	◎	車両事故	◎

横添ICオフランプ部周辺における駐車車両による危険性の危機

対策前断面構成（標準断面）

対策前写真

至 静岡市
至 島田市

図面に記載は平成23年～26年発生事故

対策実施状況

対策実施状況

- 右折車線のカラー化
- 交差点流入部のカラー化
- 減速路面標示『追突注意』
- 注意喚起標識『路肩駐車禁止』
- 注意喚起標識『この先合流注意』
- 車線分離

対策後断面構成（標準断面）

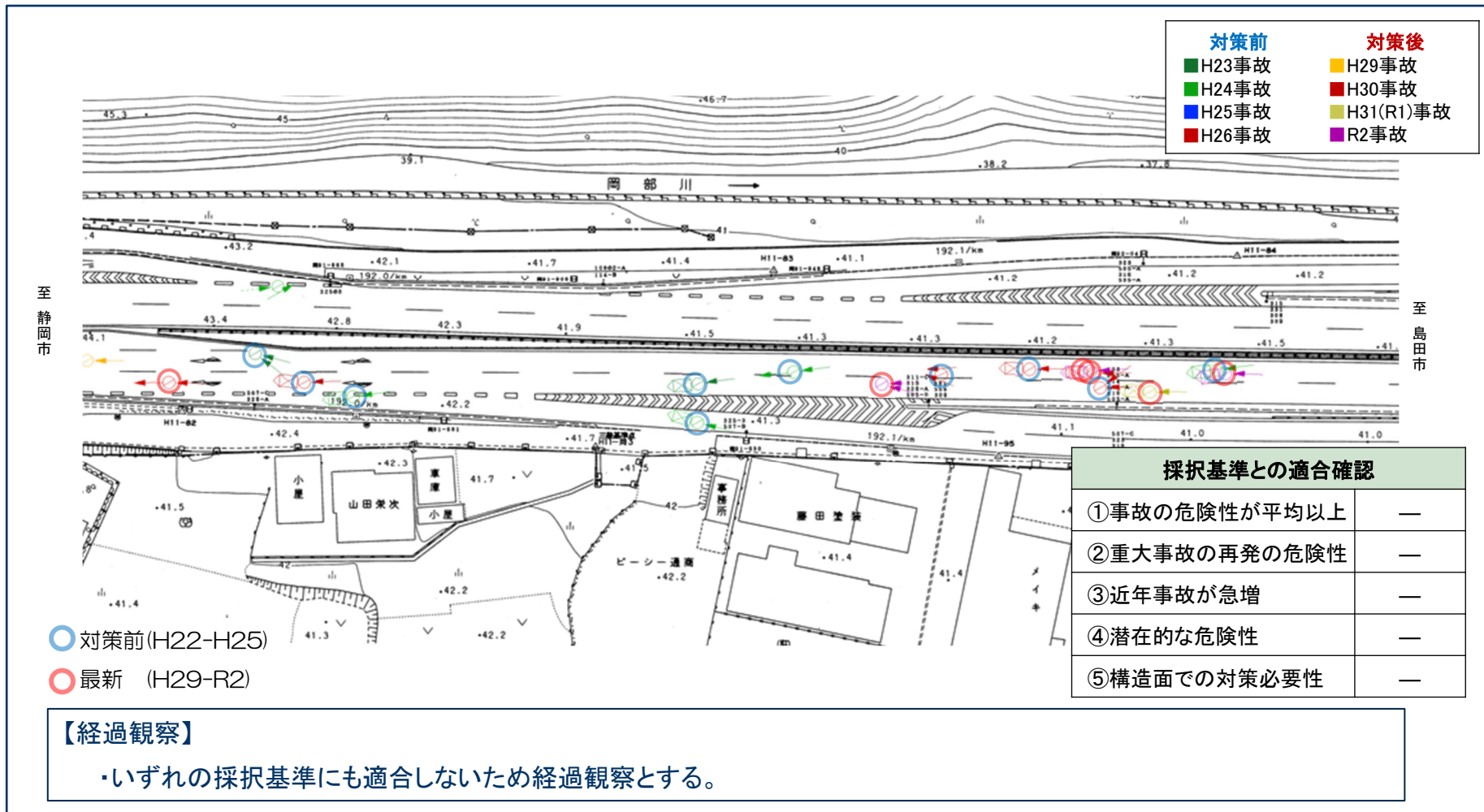
対策後写真

至 静岡市
至 島田市

○：改善 □：未改善
①：H27対策
○：対策年不明

C 追加対策候補区間（藤枝市岡部町岡部1920～1960）

- ・地域の声に基づく選定の採択基準のいずれにも適合しない。
- ・追加対策の必要性は低いとして、経過観察区間とする。

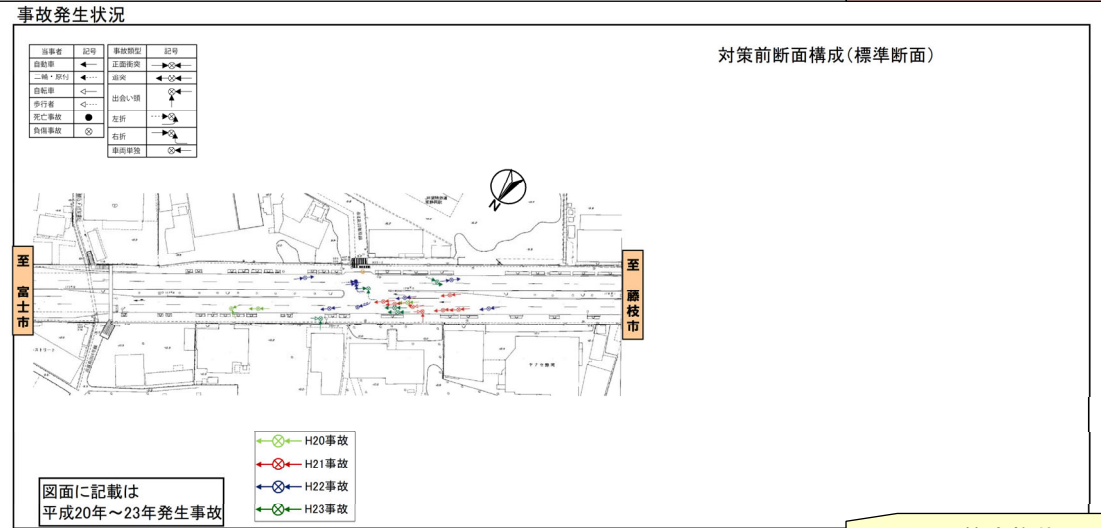


C

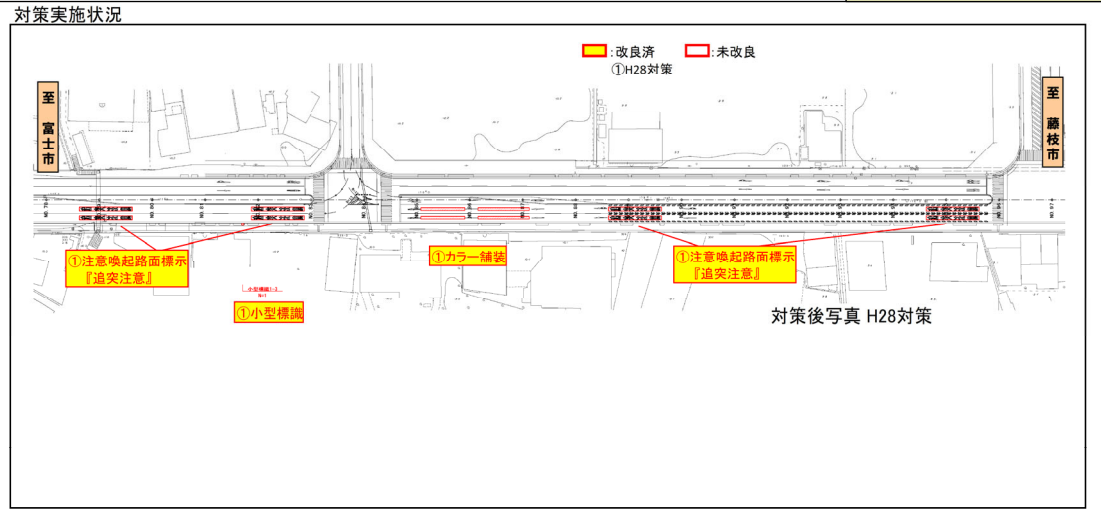
追加対策候補区間（葵区长沼703-1(長沼西交差点)）

事前事故発生状況

国道1号 長沼西交差点 (H28対策)	
選定理由：地域の声に基づく選定	
事故判定 増減	①死傷事故件数 選定時：6件/4年(H17-H20) 評価時：13件/4年(H29-R2)増加
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 6件/4年→13件/4年（117%増加）
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追加）1件/4年→10件/4年（増加）
効果判定	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 基準値超過指標：なし
	<p>H28対策</p> <p>死傷事故件数(件/年)</p> <p>■ 追突 ■ その他</p> <p>4年計比較</p>



対策実施状況

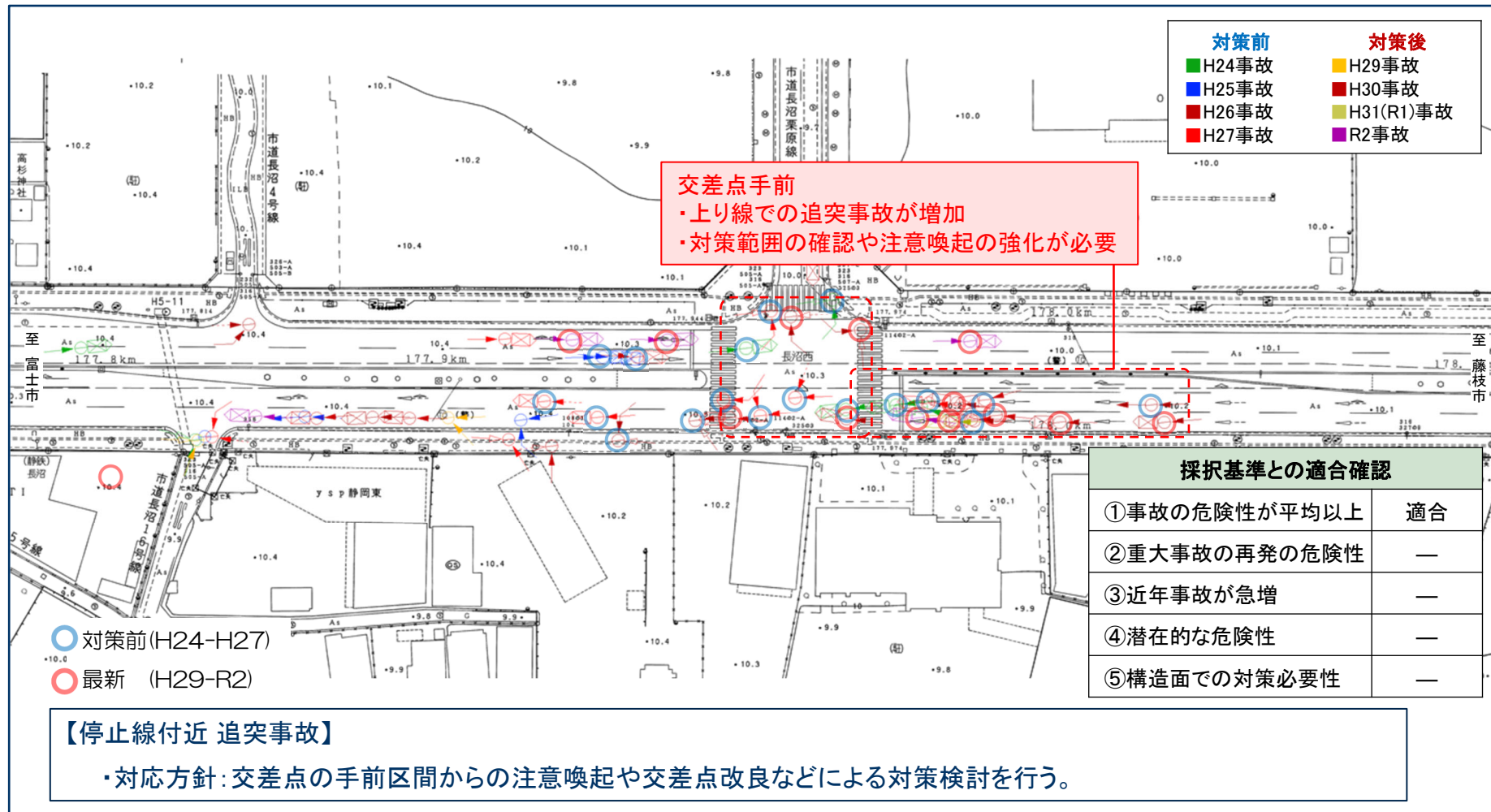


○：効果評価基準達成
 ×：効果評価基準未達成

C

追加対策候補区間（葵区長沼703-1(長沼西交差点)）

- ・対策実施後も事故は増加傾向にあり、採択基準「事故の危険性が平均以上」に該当。
- ・増加する事故に対して、既存注意喚起対策の強化のほか、交差点改良等の抜本的対策も含め検討をする。



C

追加対策候補区間（駿河区中吉田13-13（中吉田交差点））

事前事故発生状況

国道1号 中吉田交差点（H28対策）

選定理由：地域の声に基づく選定

事故判定 増減	①死傷事故件数 選定時：8件/4年（H17-H20） 評価時：23件/4年（H29-R2）増加	×
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 8件/4年→23件/4年（188%増加）	×
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）2件/4年→11件/4年（増加）	×
効果判定	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 基準値超過指標：なし	○

H28対策

死傷事故件数(件年)

■追突 ■その他

H21-H24 (選定時) H29 H30 R1 R2 H21-H24 4年計比較 H29-R2 4年計比較

事故発生状況

当事者	記号	事故類型	記号
自動車	←	正面衝突	→←
二輪・原付	←	追突	→
自転車	←	出会い頭	↑
歩行者	←	左折	↙
死亡事故	●	右折	↘
負傷事故	◎	車禍単独	◎

対策前断面構成（標準断面）

24.10

3.00 0.50 3.25 3.25 3.50 3.25 3.25 4.00

至 藤枝市

至 富士市

至 浜松市

対策前写真

図面に記載は平成23年～26年発生事故

対策実施状況

対策実施状況

■改良済 □未改

○対策時期不明

①H28対策

- ①減速路面標示（ドットライン）
- ②右折レーンの延伸
- ③直進レーンのカラー舗装
- ④注意喚起看板
- ⑤注意喚起路面標示『追突注意』
- ⑥注意喚起路面標示『追突注意』
- ⑦指導線
- ⑧注意喚起路面標示カラー舗装

対策後断面構成（標準断面）

24.10

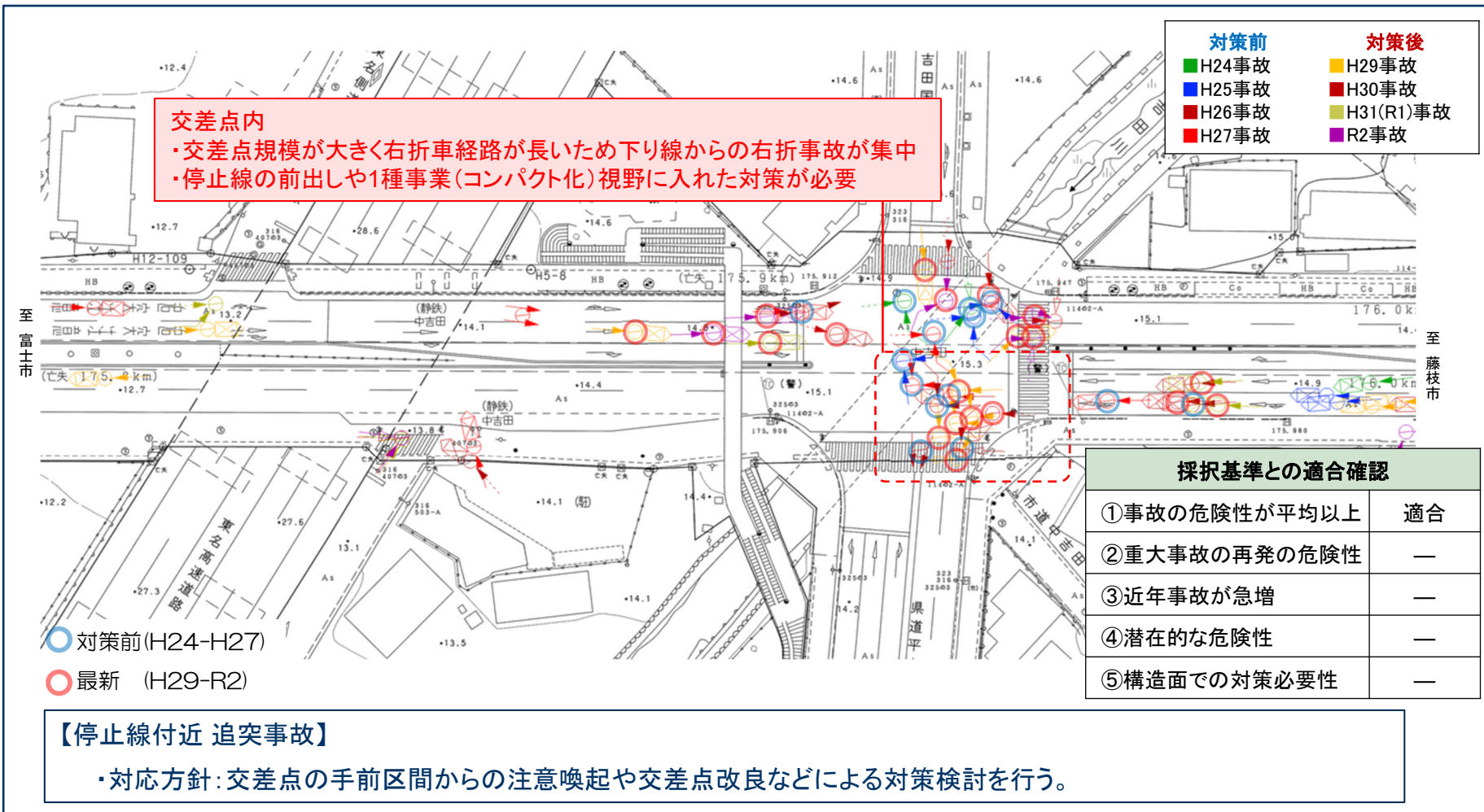
3.00 0.50 3.25 3.25 3.25 0.25 3.25 3.25 4.00

対策後写真 H28対策

○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

C 追加対策候補区間（駿河区中吉田13-13（中吉田交差点））

- ・対策実施後も事故は増加傾向にあり、採択基準「事故の危険性が平均以上」に該当。
- ・増加する事故に対して、既存注意喚起対策の強化のほか、交差点改良等の抜本的対策も含め検討をする。



④追加対策の要否判断

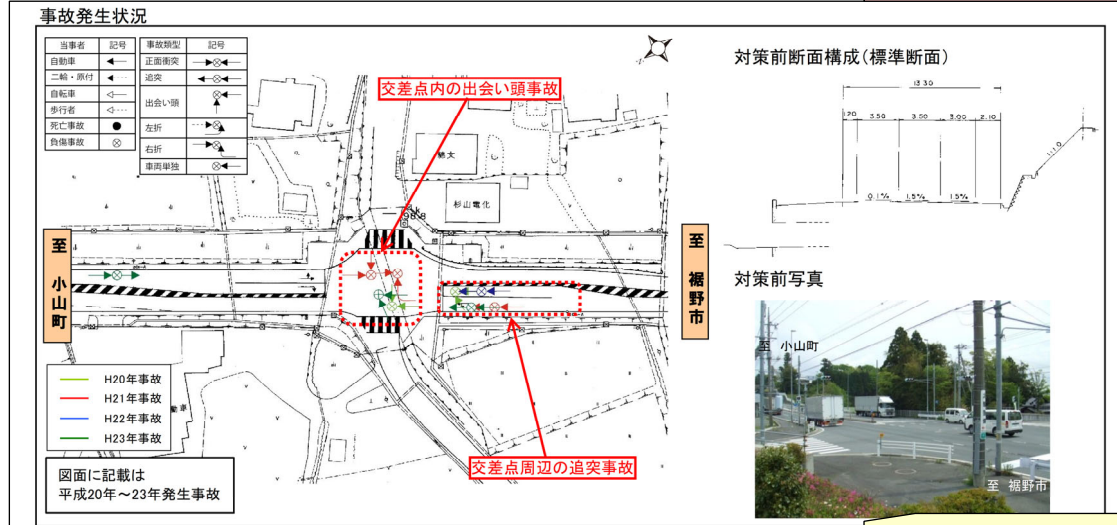
追加対策候補区間の一覧（沼津河川国道管内）

担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
沼津河川国道事務所	御殿場市	国道246号	交差点	御殿場市塚原837(塚原交差点)	H22	H28	R4		●	経過観察

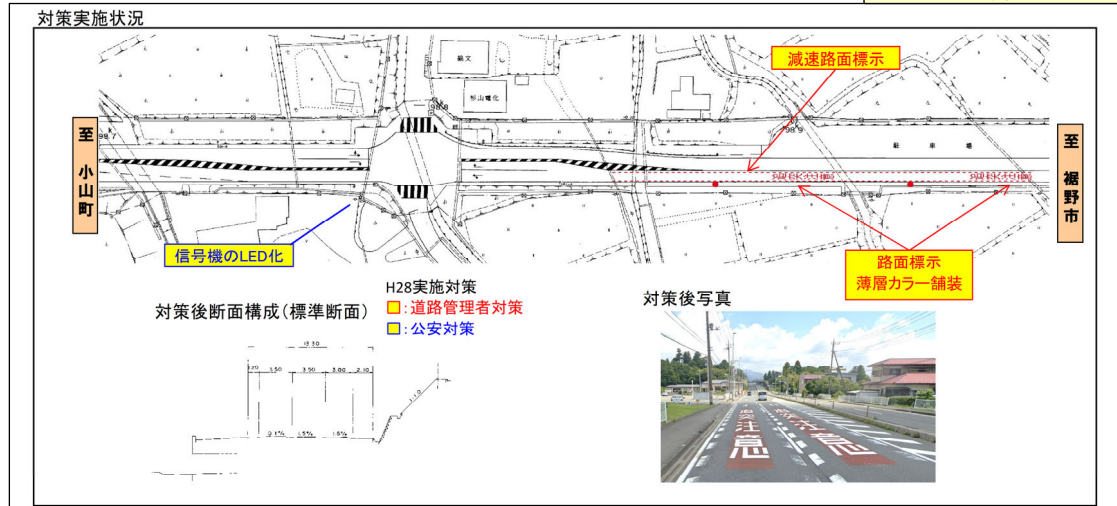
C

追加対策候補区間（御殿場市塚原837(塚原交差点)）

事前事故発生状況



対策実施状況



国道246号 塚原交差点 (H28対策)

選定理由：地域の声に基づく選定

事故判定増減

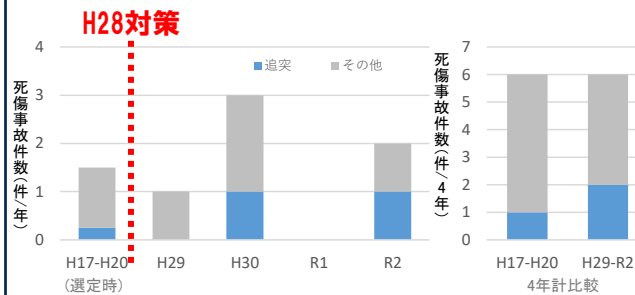
①死傷事故件数
選定時：6件/4年 (H17-H20)
評価時：6件/4年 (H29-R2) 減少なし ×

①全体判定（事故件数3割抑止）：
6件/4年→6件/4年（減少なし） ×

②着目事故判定（事故件数3割抑止）：
（追突）1件/4年→2件/4年（増加） ×

効果判定

③潜在的危険度（ETC2.0判定）：
基準値超過指標：なし ○

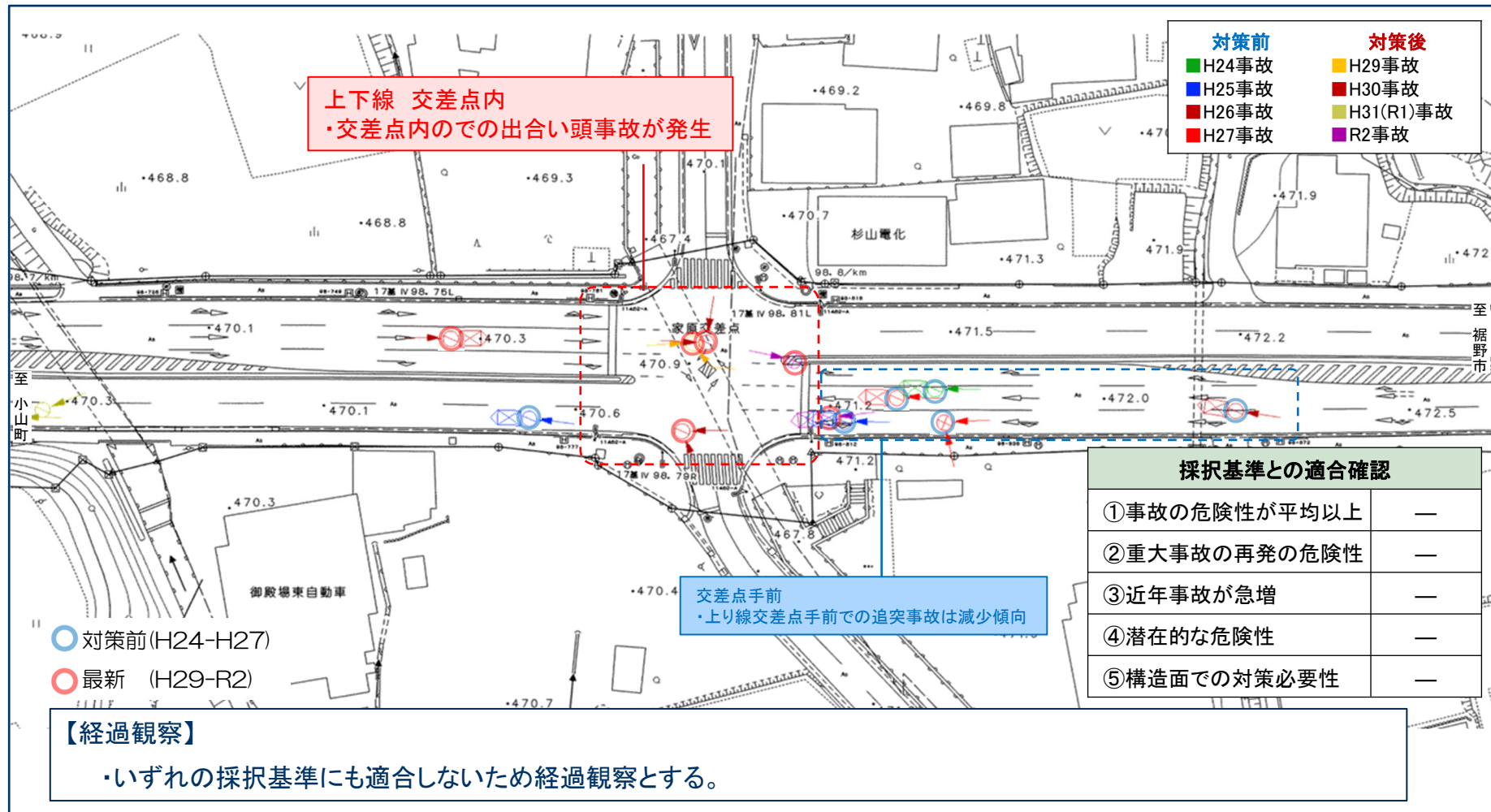


○：効果評価基準達成
×：効果評価基準未達成

C

追加対策候補区間（御殿場市塚原837(塚原交差点)）

- ・地域の声に基づく選定の採択基準のいずれにも適合しない。
- ・事故件数も少なく、増加していないため追加対策の必要性は高くないと考え、経過観察とする。



④追加対策の要否判断

追加対策候補区間の一覧（浜松河川国道管内）

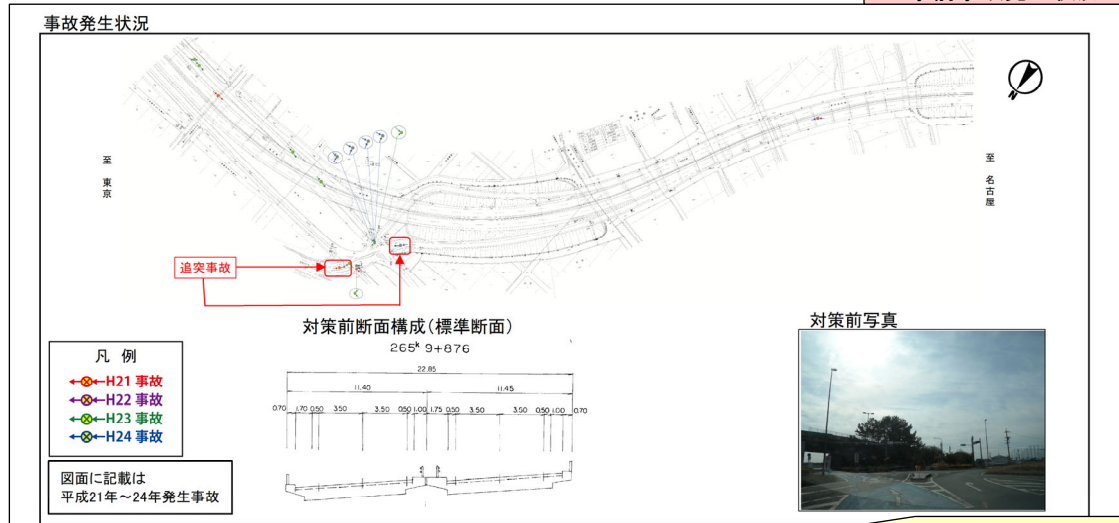
担当事務所名	市区町村名	路線名	単路/ 交差点	対象区間・地先名	事故危険区間 選定年度	対策 実施年度	効果 評価	事故データに 基づく選定	地域の声に 基づく選定	追加対策 実施要否判断
浜松河川国道事務所	浜松市	国道1号	交差点	西区篠原町22208(篠原IC)	H22	H26	R4		●	経過観察
浜松河川国道事務所	掛川市	国道1号	交差点	掛川市千羽1325～441 (※下り線合流区間が対象)	H22	H24	R4		●	経過観察

C

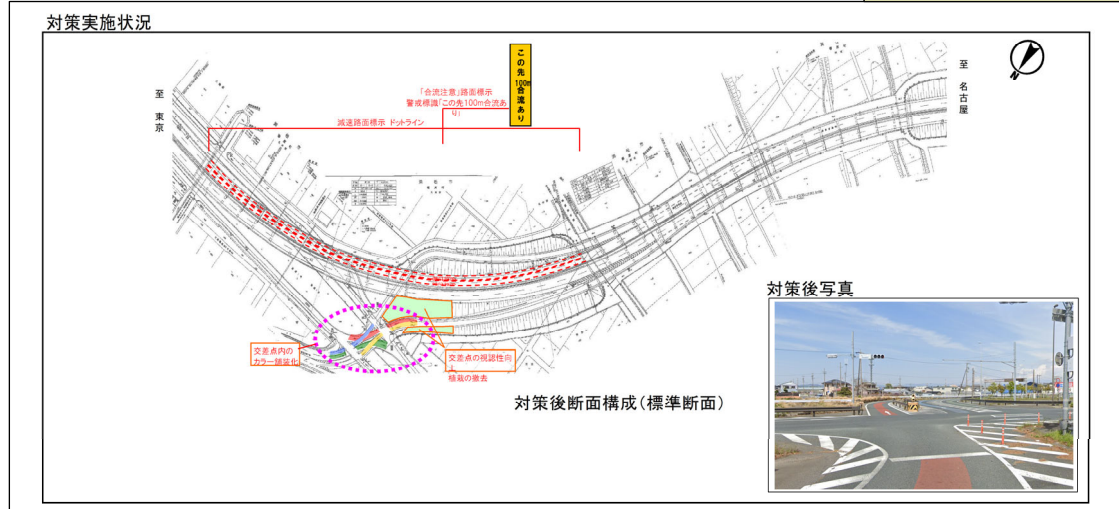
追加対策候補区間（西区篠原町22208(篠原IC)）

事前事故発生状況

国道1号 西区篠原町22208(篠原IC) (H26対策)	
選定理由：地域の声に基づく選定	
事故判定増減	①死傷事故件数 選定時：3件/4年(H17-H20) 評価時：3件/4年(H29-R2) 減少無し ×
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 3件/4年→3件/4年（減少なし） ×
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）1件/4年→3件/4年（200%増加） ×
効果判定	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 基準値超過指標：なし ○
	<p>H26対策</p> <p>死傷事故件数(件/年)</p> <p>■追突 ■その他</p> <p>4年計比較</p>



対策実施状況

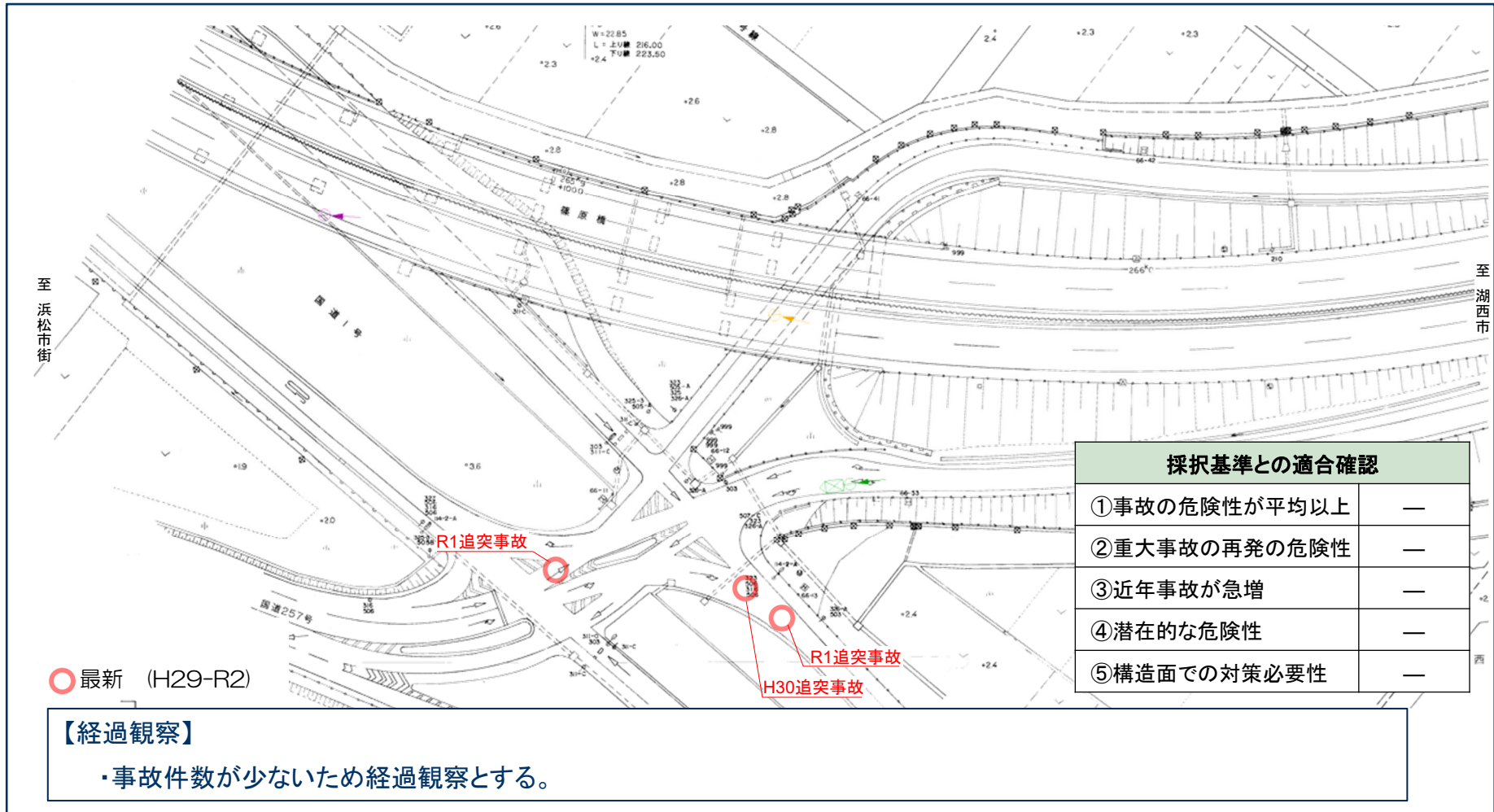


○：効果評価基準達成
 ×：効果評価基準未達成

C

追加対策候補区間（西区篠原町22208(篠原IC)）

・1件/1年程度と事故件数も少ないため追加対策の必要性は高くないと考え、経過観察とする。

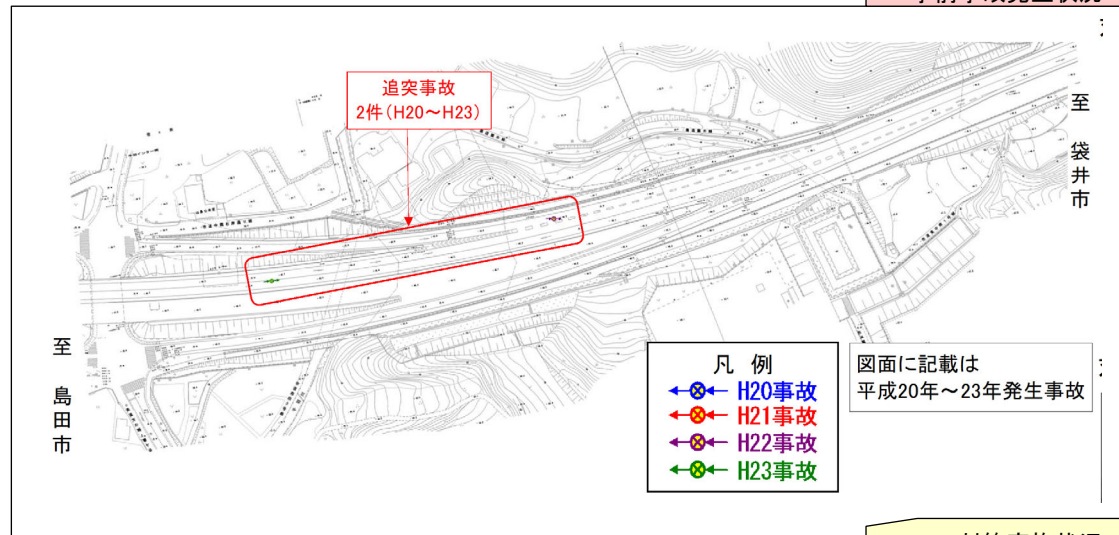


C

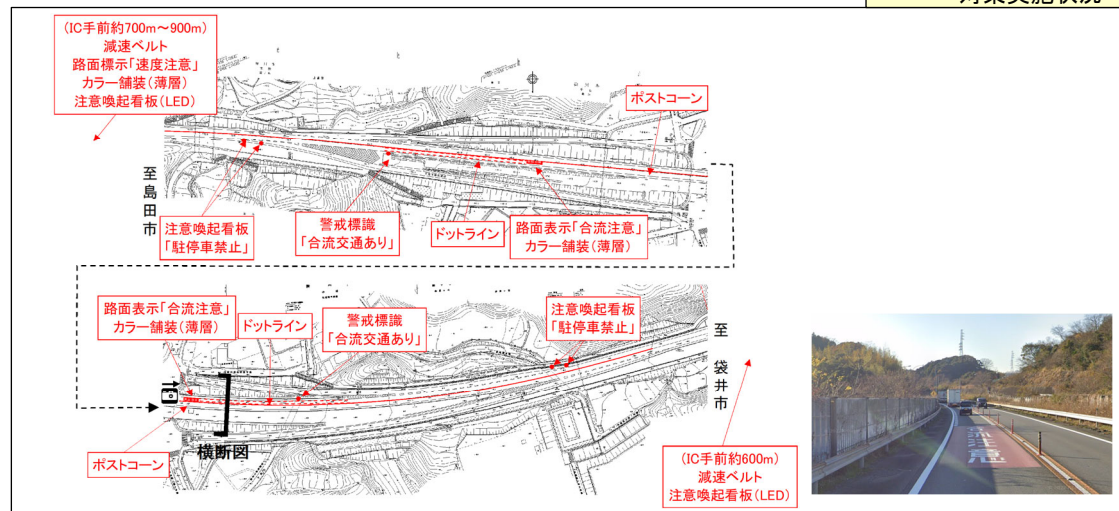
追加対策候補区間（掛川市千羽1325～441）

事前事故発生状況

国道1号 掛川市千羽1325～441 (H24対策)																					
選定理由：地域の声に基づく選定																					
事故判定増減	①死傷事故件数 選定時：2件/4年 (H17-H20) 評価時：3件/4年 (H29-R2) 増加 ✗																				
	①全体判定（事故件数3割抑止）： 2件/4年→3件/4年（50%増加） ✗																				
	②着目事故判定（事故件数3割抑止）： （追突）2件/4年→3件/4年（50%増加） ✗																				
効果判定	③潜在的危険度（ETC2.0判定）： 基準値超過指標：なし ○																				
	<p>H24対策</p> <table border="1"> <caption>死傷事故件数(4年)</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>追突</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17-H20 (選定時)</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H17-H20 vs H29-R2 (4年計比較)</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	期間	追突	その他	H17-H20 (選定時)	2	0	H29	0	0	H30	2	0	R1	1	0	R2	0	0	H17-H20 vs H29-R2 (4年計比較)	2
期間	追突	その他																			
H17-H20 (選定時)	2	0																			
H29	0	0																			
H30	2	0																			
R1	1	0																			
R2	0	0																			
H17-H20 vs H29-R2 (4年計比較)	2	1																			



対策実施状況

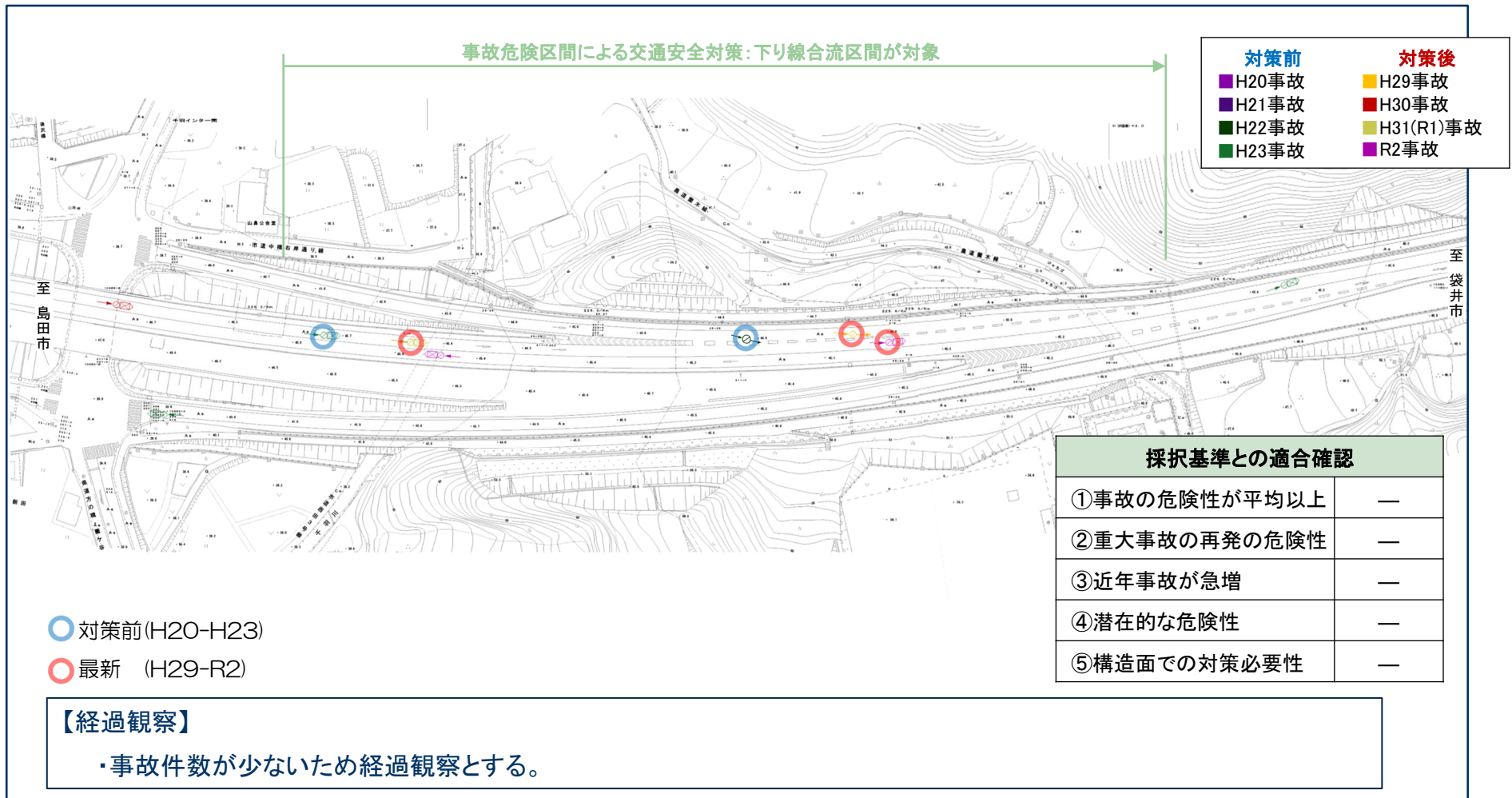


○：効果評価基準達成
✗：効果評価基準未達成

C

追加対策候補区間（掛川市千羽1325～441）

- ・下り線合流部付近で追突事故が発生(3件/4年)。
- ・1件/1年程度と事故件数も少ないため追加対策の必要性は高くないと考え、経過観察とする。



4

事故ゼロプランの新規追加区間

参考資料

① 事故ゼロプラン新規追加区間の一覧

- 「地域の声に基づく選定区間」として**1区間を選定**。
 ※今年度は「事故データに基づく選定区間」は選定無し。

事務所名	イタルタ区間番号	交差点 単路別	市町村名	箇所名	路線番号	キロ程		H29-R2 死傷事故件数 (件/4年)	H29-R2 死傷事故率 (件/億台キロ)	事故データに 基づく抽出	地域の声に 基づく抽出	備考
						交差点:中心 単路:起点	単路:終点					
浜松河川 国道事務所	22-K61943-000	交差点	袋井市	袋井市堀越地先(無信号交差点)	国道1号 (側道)	239.615		14	418.9		●	区間別データの異常集計区間のため、生活道路事故データより集計死傷事故率はH28.10.18交通量調査結果をもとに算出

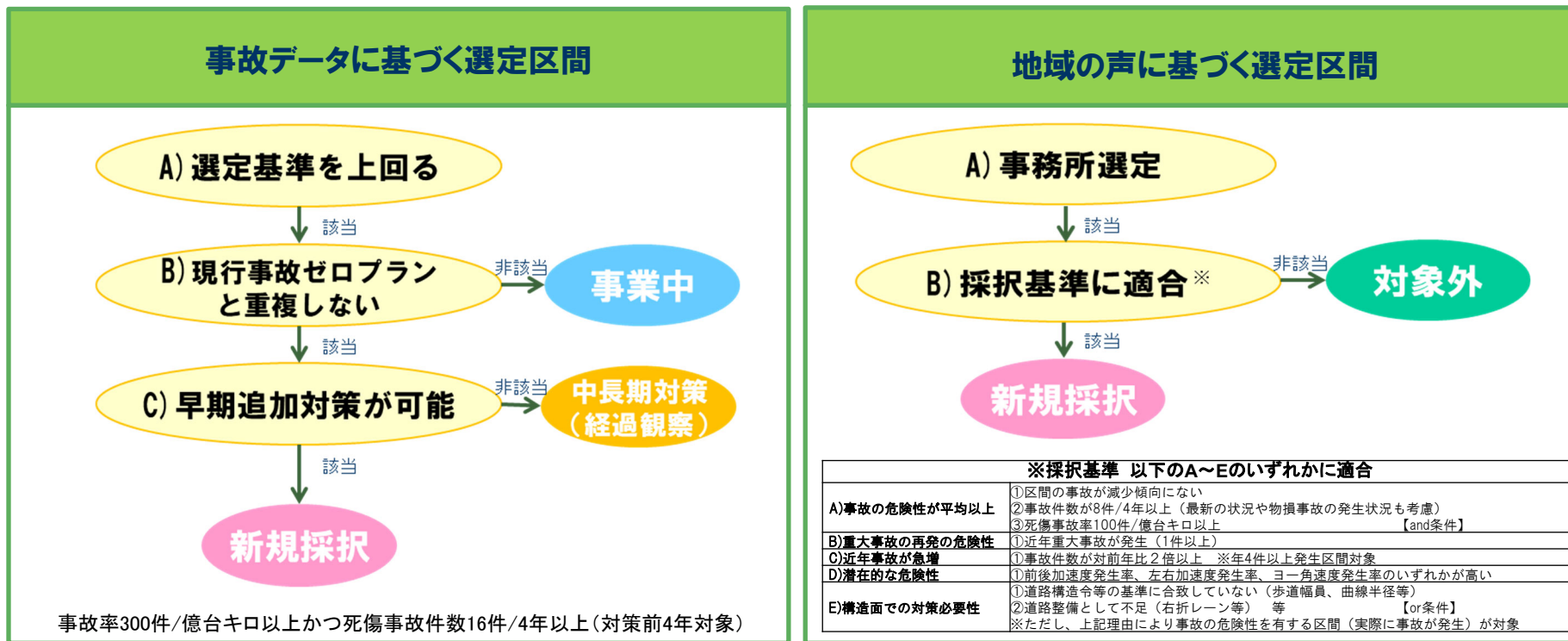
4

事故ゼロプランの新規追加区間

参考資料

②事故ゼロプラン新規追加区間の採択基準

【事故ゼロプランの新規採択基準】



③新規追加区間 浜松河川国道事務所 国道1号(側道) 袋井市堀越地先(無信号交差点)



イタルダ区間番号:22-K61943-000

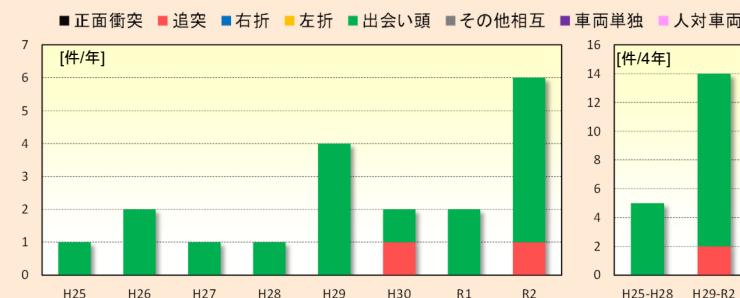


- 当該区間は死傷事故件数14件/4年(H29～R2事故)の、交通事故が発生している。
- 当該区間は袋井警察署及び袋井市役所から事故対策の要望書が提出されている。
- パイパス高架下の無信号交差点で、側道部には上下線ともに右折車線が設けられている。
- 交差点側から側道への視認性が悪いため、側道の走行車両の見落としが発生し、減速・一時停止を怠った車両による出会い頭事故が多発している。
- 右折車線ゼブラ化や交差点コンパクト化により視認性を向上する対策を検討予定。

国道1号(側道) 袋井市堀越地先(無信号交差点)

- ①選定理由：地域の声に基づく抽出
(採択基準：A) 事故の危険性が平均以上
：C) 近年事故が急増)

②事故件数の経年変化



③死傷事故件数：14件/4年

④死傷事故率：418.9件/億台*

出典：地理院地図(電子国土Web:国土地理院)(<http://www.gsi.go.jp/>)をもとに
国土交通省静岡国道事務所作成

※区間別データの異常集計区間のため、生活道路事故データより集計
※死傷事故率はH28.10.18交通量調査結果をもとに算出

4

事故ゼロプランの新規追加区間

参考資料

④事故ゼロプラン新規追加区間 位置図

- 事故データに基づく選定区間 0区間
- 地域の声に基づく選定区間 1区間

